



船橋市議会議員（市民民主連合）

立憲民主党

浦田秀夫通信

号外
(2022年5月)

自宅 船橋市松が丘 3-49-2-207 TEL・FAX 047-466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 携帯 080-1074-4455

メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ・FB 浦田秀夫で検索

バイオマス発電始まる 下水汚泥を活用

下水の汚泥から発生したバイオマスガスを活用した発電事業が4月から高瀬下水処理場で始まりました。市民民主連合として、4月19日このバイオマス発電施設を視察しました。

この発電施設は、下水汚泥を発酵させ取り出したメタンガスを燃料として発電するもので、年間の発電量は495万キロワットで1,220世帯分の電力に相当します。また、年間2,200トンのCO2削減効果（杉約29万本の吸収量）が期待されています。

この事業は民設民営方式で行うもので、事業者(JFEエンジニアリング)が発電設備の整備や運営を行い、市はメタンガスの売却費など年間約1億円の歳入を見込んでいます。

発電した電力は事業者が固定価格買取制度(FIT)を活用して電力会社に売電します。



これまで、下水汚水を処理する汚泥は、セメントの材料として再資源化していましたが、エネルギー資源としての活用を図るために本発電事業を行うものです。

市は、こうした事業を通して2050年ゼロ・カーボンに向け取り組んで行くとしています。

ウクライナ緊急人道支援 国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

日本でも報道されているように、ウクライナで軍事行動が開始され、情勢は著しく悪化しています。すでに子どもや民間人を含めた多くの犠牲者が出ており、2022年4月現在、ウクライナの人口のおよそ4分の1、約1200万人が安全を求めてウクライナ国内外で避難を強いられている他、ウクライナ国内で被害を受けている地域に少なくとも1300万人が取り残されています。



ウクライナ国内では、市民や市民の住居、民間の施設への攻撃が続き、安全な輸送経路も確保されていないことから、何万人もの市民の命や生活が脅かされ、保護のリスクも高まっています。

被害を受けている地域では、女性や子ども、障がい者、高齢者、その他マイノリティといった非常に弱い立場に置かれた人々が、移動手段、食料、水、薬、救急等、あらゆる必要なサービスの利用が困難な状況です。UNHCRは地元当局、人道支援団体と連携しながら人道支援を実施しており、受入施設の開設、救援物資やシェルターの提供、国境地域での支援の強化等を実施しています。

立憲民主党が全国で取り組んだウクライナ支援募金は UNHCR に寄付しました。

市民からのお便り

高齢者に無料パスの支給を

いつも浦田秀夫通信を心待ちに拝読している一老人です。市議会の内容をいろいろとお知らせくださり感謝しております。一市民としてお願いがあります。



私は86才の少し足の悪い老人ですが、何とか身の回りのことは自分でしています。買い物等（遠くへは行きません）はバスを利用しております。

東京都では70歳以上の人にはバスの「無料パス」が支給されているとのこと。船橋市ではそんな制度はできないのでしょうか。わずか百米位の1区間でも180円、1日2~3回利用する日もあります。わずかな買い物よりもバス代の方が高くなることもあります。

わがままなお願いですが、なにとぞご一考お願いします。

市民の思い願いを市政に届けていきます。

車廃止で通院など外出が困難

88才の老人です。足が不調のために車で移動して買い物や通院をしていましたが、5月末で自動車を廃止します。

買い物や通院などの外出が困難となります。船橋市の福祉制度などを教えていただければ幸いです。

自宅を訪問し、介護保険や福祉タクシーの活用、申請方法などを紹介しました。

福祉タクシー乗車券（要介護者等）

助成額 運賃の半額（上限1200円）を助成
支給枚数

要支援2、要介護1・2の方、年間12枚

要介護3以上の方 利用枚数に制限なし

申請窓口 高齢者福祉課 各出張所・連絡所

本通信に関するご感想やご意見、市政に関するご要望などありましたら、メールやお手紙でお寄せください。

メール urata.hideo.1950@gmail.com

住所 〒274-0064 船橋市松が丘 3-49-2-207

小西ひろゆき参議院議員を応援

7月の参院選挙、立憲民主党公認で立候補を予定している小西ひろゆき参議院議員を応援しています。

小西ひろゆき参議院議員は、10才の時から21年間にわたる脳卒中後遺症のお父さんの介護の経験、そして総務省、産業経済省のキャリア官僚としての経験を生かし、コロナ対策や、介護・医療、子育て、防災、安全保障などの分野で、具体的に政策を提案し、時には政府を厳しく追求し、その実現に全力を尽くしてきました。

2019年の台風15号が私の出身地、鋸南町など南房総を襲いましたが、小西ひろゆき参議院議員はブルーシートの設置や電源車の派遣に懸命に取り組んでいただきました。

しかし、今度の選挙は、小西ひろゆき参議院議員や立憲民主党にとって正念場です。

皆様のご支援で、三たび国会に送っていただき、その質問力や突破力で、ここに立憲民主党ありと国民の前に示していただきたいと思えます。

ポスター掲示のお願い

小西ひろゆき参議院議員と私のポスターを作成しました。ご自宅や所有地の塀などに掲示していただける方はご連絡ください。皆様のご協力をお願いします。

